

デザイン学科准教授 竹内 創

1. 研究活動

◎展覧会			
phono/graph 神戸展	2015. 4	神戸アートビレッジセンター	phono/graphプロジェクト神戸巡回展。 これまでの作品展示と、シルクスクリーンを使用した作品「note」、「Scratch Music」を制作。期間中のイベントとしてサウンドパフォーマンスを行った。
「超京都 art kyoto」2015 京都	2015. 4	ちおん舎・京都	アートフェア「ART KYOTO」にグループsoftpadとして参加し、町屋空間 ちおん舎において作品展示を行った。
「out of place」大覚寺・京都	2015. 10	旧嵯峨御所 大本山大覚寺	大覚寺の寺内においてその場所と空間に関する作品を制作し、展示を行った。観月と般若心境をテーマにした「luna」と「universe」、音を視覚的な文字に変換して表現した「note」3作品を展示。

特別客員教授 ダニエル・シボース ワークショップ+展覧会	2015. 11	名古屋芸術大学 名古屋大学	ジュネーヴ美術大学よりダニエル・シボース氏を招聘し、メディアデザイン ワークショップ「Ghost Writer」を実施した。ワークショップの成果発表を名古屋大学教養教育院 プロジェクトギャラリー「clas」にて展示を行った。
---------------------------------	----------	------------------	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 デザイン実技 III		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「メディアをデザインする」ことをキーワードに、メディアの定義や過去にどのようなメディアが存在したかのリサーチや再評価をおこなった。いままであまりメディアとしての位置づけをされていない事柄に「メディア」としての評価を与え、作品／プロジェクトとして制作することで、新旧のメディアのありかたに対する認識を広げること目標とした。		
授業科目名 デザイン実技 IV		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「ブレ卒業制作」において独自主題による制作プロセスの確認と後期の卒業制作に向けての準備を行った。		
授業科目名 デザイン実技 I		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「あなたの素材観（感）」をテーマに、デザインワークに必要なプロセスの基本を習得するため自らが選んだテーマでスケッチ、メモ、写真などで調査し、編集して一冊のブックとして作り上げていく。また取材結果や完成したブックを発表することによってプレゼンテーション能力を身につけていくことにも重点を置いた。		
授業科目名 デザイン概論		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
デザイン学部1年生を対象にした本講座は、デザインに対する多様な表現方法を理解し、視野を広げることを目的とする。デザインしていくことに必要な好奇心や探究心を養うため、毎週各専門コースの教員によるローテーション形式の講義になっている。		

授業科目名 卒業研究	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
各表現領域におけるメディアの構造をハード面、ソフト面双方から分析し、その結果を各自が表現したい分野に応用し制作物に反映させ、卒業制作と展示を進めていった。	
授業科目名 デザイン実技 II	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「映像をデザインする」というテーマで映像作品の制作と同時代および過去の優れた映像表現の鑑賞と学習。 その上で自己の適性を把握し、今後の制作の基盤を形成していけるよう進めた。制作においては、人と人が共に仕事をするために必要なルールやコミュニケーションを重視した。	映像編集ソフト タブレット端末
授業科目名 デザイン実技 III	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
これまでに身につけた知識と技術をより展開するかたちで、Webや動画などタイムベースのメディアをデザインする技術と方法を学ぶ。6週間で主なインタラクティブの概要や利用方法を学び、次の6週間は電子工作を中心とするコンテンツ制作を行った。残りの3週間は、レビュー展示や各自のポートフォリオ制作に取り組み、多様なメディア表現を習得することを目的とした。	映像編集ソフト タブレット端末 電子工作

3. 学会等および社会における主な活動